

第11回 奈良市子ども・子育て会議子ども条例部会 会議録

開催日時	平成30年5月17日（木）午前10時から正午まで		
開催場所	奈良市役所 北棟2階 第16会議室		
出席者	委員	浜田委員、岡田委員、栗本委員、篠田委員、須川委員 【計5人出席】	
	事務局	【子ども未来部】 真銅子ども未来部長、川尻子ども未来部次長、玉置子ども政策課長、大前こども園推進課長、安井保育所・幼稚園課長補佐、小澤子ども育成課長、野儀子育て相談課長 【保健所】 米田健康増進課長 【学校教育部】 岡田教育政策課長補佐、東畑学校教育課長、坂本いじめ防止生徒指導課長、小林地域教育課長	
開催形態	公開（傍聴者：2名）	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	1 議題 （1）平成30年度奈良市子ども会議について （2）奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条の検証について		
決定又は取り 纏め事項	・平成30年度奈良市子ども会議（案）について了承された。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 議題 （1）平成30年度奈良市子ども会議について ・事務局より、平成30年度奈良市子ども会議について説明を行った。 ○岡田委員 ・募集方法のひとつとして、学校の先生から告知をしてもらうのがよいと思います。 ・子ども会議では、奈良市以外の地域の公園や遊び場の情報提供があるとよりよいと思います。 ○栗本委員 ・子どもたちに奈良市の居場所や遊び場の現状の情報を提供しながら提案を考えてもらえたらいいと思います。 ・行政だけでなく、テーマに関わる活動をされているような方も巻き込んだ議論ができればいいと思います。			

○篠田委員

- ・募集チラシについては、対象者全員に配ってもいいと思います。
- ・学校でまとめて応募するとか、応募のハードルを低くすることやどれだけ多くの人に周知できるかが大事だと思います。
- ・子どもがどんなところで遊びたいのかや、実際にはどこで遊んでいるのかといった意見が出てくればいいと思います。
- ・子どもたちから提案が提出されたら、例えば、地域の自治会やいろんなところに周知されるといいと思います。

○須川委員

- ・中高生は放課後に塾や習い事に行く場合が多いと思うので、遊び場というテーマが子ども会議の対象者の年齢に合わないのではないかと思います。
- ・出される提案に対して、きちんと対応することや、その対応について周知することが重要だと思います。

(2) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条の検証について

○岡田委員

- ・放課後子ども教室について、校庭開放等をされていますが、やり方の工夫や実態を考えながら、もう少しいろいろなかたちのものがあつた方がいいように思います。

○須川委員

- ・学校や地域の図書館を開放したり、公民館を積極的に活用してはよいのではないかと思います。

○栗本委員

- ・事業者として感じていることとして、例えば、事業のボランティアスタッフも高齢化が進んでいて、今後の人材確保の点からも、若い人たちに参加してもらうことが重要だと感じていますが、行政の施設を利用する場合、規制がいろいろあり、若い人たちを事業に巻き込む妨げになっているのではないかと感じます。
- ・情報発信にしても、情報の整理や、情報を必要としている人に届ける道筋の仕組みが必要ではないかと感じています。

○篠田委員

- ・子どもたちはすごく工夫をする力があると思うので、そういったことを大切にするような視点が遊び場づくりをするうえで重要だと思います。
- ・遊び場づくりをしていく上での奈良市としての取組の方向性を示すことが必要になると思います。

○浜田部会長

- ・第17条に照らして、今後、奈良市でこんな取組をしてくださいという意見が出ましたので、これをまとめながら、今後の課題について、子どもの居場所・遊び場とはなにかといったこと、どういう方向性で取り組むのか、新たなものをつくるのか、既存のものを生かすのかなども報告書にまとめていきたいと思います。また、中高生の課題も盛り込めたらいいなと思います。

資 料	【資料1】奈良市子ども・子育て会議子ども条例部会委員名簿 【資料2】平成30年度奈良市子ども会議（案）について 【資料3】平成30年度奈良市子ども会議参加者募集チラシ（案） 【資料4】平成30年度奈良市子ども会議参加者募集ポスター（案） 【資料5】奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条の検証について
--------	---